

私は、政清会を代表しまして、認第1号令和5年度野田市一般会計から認第5号令和5年度野田市後期高齢者医療特別会計までの各会計の決算認定について、全て賛成する立場で討論をさせていただきます。

まず、一般会計の歳入については、根幹となる市税が予算現額を約1億8,200万円上回る決算額となっており、物価の高騰等で大変厳しい経済状況の中、徴収率も向上しており、公平な税の負担に向けた徴収対策の取組の成果が見受けられます。3年連続して県内第3位となっていることも、成果の現れであると思っております。

次に、歳出については、総務費では、令和5年4月1日に健康スポーツ文化都市を宣言し、記念事業等を実施されたほか、野田市応援ソングを野田市駅の発車案内メロディーとするなどのシティプロモーション事業が実施されました。また、4月1日から船形多世代交流センターが開設されたほか、自転車乗車用ヘルメット購入費助成が開始されました。

民生費では、引き続き重層的支援体制整備事業への移行準備事業が実施されたほか、子ども医療費助成における中学3年生までの自己負担金の無料化、川間学童保育所の移転工事を実施されるなど、子育て支援策の充実が図られました。また、物価高騰対策として、市独自に障がい福祉サービス等事業所及び介護サービス事業所物価高騰対策支援金の支給、公立直営保育所の給食費に係る物価高騰分の公費負担が実施されました。

衛生費では、国の出産・子育て応援交付金とは別に市独自にあかちゃんお祝い金の支給が開始されたほか、がん患者等に対する補装具等購入費用及び若年がん患者在宅療養費支援助成金が開始されました。また、物価高騰対策として、省エネ家電製品買換促進補助金の支給、水道基本料金の全額免除等が実施されました。

農林水産業費では、引き続き農産物ブランド化の一環として玄米黒酢農法に取り組みられたほか、農業人材育成事業、排水機場の適正化事業等が実施され、物価高騰対策として、動力光熱費及び飼料価格高騰対策補助金の支給が実施されました。

商工費では、引き続き空き店舗等活用補助金、商品開発事業補助金が実施され、4年ぶりに野田みこしパレード、野田夏まつり躍り七夕、閑宿まつり花火大会等のまつりが開催されました。また、物価高騰対策として、中小企業等省エネ設備導入支援補助金、貨物自動車運送事業者物価高騰対策支援金の支給が実施されました。

土木費では、連続立体交差事業をはじめ、関連事業である野田市駅西土地区画整理事業等の進捗が図られたほか、梅郷駅西土地区画整理事業、六丁四反調整池整備事業等の進捗が図られました。

消防費では、消防団分団器具置場 1 か所の新築工事が実施されたほか、高規格救急自動車 1 台が更新されました。

教育費では、教育環境のさらなる向上を図るため、継続事業である岩木小学校ほか 4 校のトイレ洋式化に係る改修工事が実施されたほか、関宿城埋門保存修理工事、福田体育館の耐震補強及び大規模改修工事、(仮称) 南部地区広場整備工事等が実施されました。また、物価高騰対策として、小中学校及び幼稚園の給食費に係る物価高騰分の公費負担、私立幼稚園物価高騰対策支援補助金の支給が実施されたほか、県の補助金も活用して市内小中学校の第 3 子以降の学校給食費の無償化が実施されました。

このように、令和 5 年度一般会計歳入歳出決算は、必要な一般財源の確保が極めて厳しい財政状況にありながらも、元気で明るい家庭を築ける野田市の実現に向けて、教育環境の充実や子育て支援など市民の安全安心の確保に資する事業を予定どおり実施し、さらに新型コロナウイルス感染症対策及び物価高騰対策を適時適切に実施するなど、適正な予算執行であったと認められ、高く評価いたします。

また、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、次木親野井特定土地区画整理事業特別会計、後期高齢者医療特別会計についても、それぞれの目的に沿った適切な予算執行であったと認められ、全ての決算認定について賛成いたします。

最後に、令和 6 年度以降は、市税等の増収が見込まれない中、社会保障関係費が引き続き増加する見込みであることに加え、物価の高騰、賃上げ・処遇改善の実施などによる経常経費の増加も見込まれます。また、喫緊の課題である公共施設の老朽化対策にも対応しなければなりません。引き続き大変厳しい財政状況が続くことになるとと思いますが、職員一人一人がそのことを改めて認識し、気を緩めることなく、引き続きゼロベースでの事業見直しや新たな財源確保に全庁を挙げて取り組んでいただくことを要望いたしまして、賛成討論とさせていただきます。